

1月

いだ
抱け

かがや
輝け

ひら
拓け



平成28年度 原山中だより 【第9号】 平成29年1月6日発行

1月の決意が、いちばん固い。

校長 林 直紀

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年の干支は酉年（とりどし）です。十二支10番目の動物である「とり」は神鶏とも呼ばれ、神の使いとも言われています。太陽が昇るとき必ず鶏が「コケコッコ」と鳴きます。そのため、鶏の鳴き声には太陽の神を呼ぶ力があるとされています。酉年の「にわとり」は明け方に鳴き、新年も一番に鳴く鳥のなで大変縁起がよいとされています。



今年度も、保護者や地域の皆様には、体育祭や文化祭など校内行事へ参加していただき、生徒の意欲を高めていただきました。このことをはじめとして、家庭や地域との強い連携を図るなかで、学校のエネルギーが増している気がします。あらためて感謝します。

さて、3学期になりました。各学年とも締めくくりの段階に入ります。生徒たちは、この節目の中で「今年こそは」と、新しい年の夢を描いたり目標を立てたりしていると思います。それぞれの学年や立場に応じた夢や目標の設定は、その後の成長に重要な役割を果たします。

3年生はあとわずかです。卒業です。残された中学校生活の締めくくり方が重要です。締めくくりが良ければ新しい進路先での活動も充実したものになります。

2年生は3年生に代わって最高学年としての動きが求められます。学校の顔としての気概をもつとともに、進路選択を現実のものにしていかなければなりません。

1年生はもうすぐ「先輩」と呼ばれるようになります。学校をリードする意識を高めるとともに、そろそろ自分の将来を見極めていかなければなりません。1月25日からの未来くるワーク職業体験がそのきっかけになればと思っています。

雑誌や新聞等でも、各界で活躍している人が子どもの時に夢や目標をもって、それに向かって努力したということがよく紹介されます。そういう人は、時にはあきらめたり方向転換したりしても、その時々新たな夢や目標を設定しています。

今年は、各家庭で夢や希望についての会話を心がけてみてください。目的意識を高くもった子どもほど確かな成長をするからです。子どもの着実な成長は何気ない日々の努力の積み重ねによって成し遂げられるものです。

本年も原山中をよろしく申し上げます。